

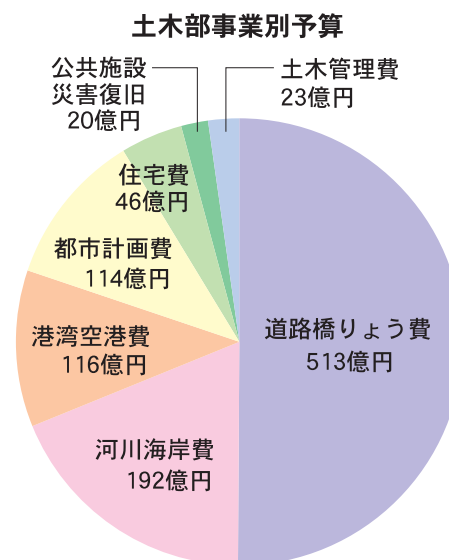
土木部の予算

長崎県土木部では、「ながさき夢・元気づくりプラン」を実現するために、長期総合計画（後期五か年計画）の三つの重点目標にもとづき、土木部関連のプロジェクトを通して、土木部基本方針を掲げています。今回は、そのプロジェクト実現にかかる土木部予算についてご紹介します。

土木部予算の使いみち

長崎県土木部の平成19年度の予算は1026億円。主に交通を便利にする道路や港をつくったり、安全・安心を確保するダムや川や海岸や住宅をつくったりと、県民のくらしの基礎を支えていく事業を行っています。

土木部の予算は、県全体の予算の14%を占めており、県民一人当たりでは、6万8千円のお金を使っています。

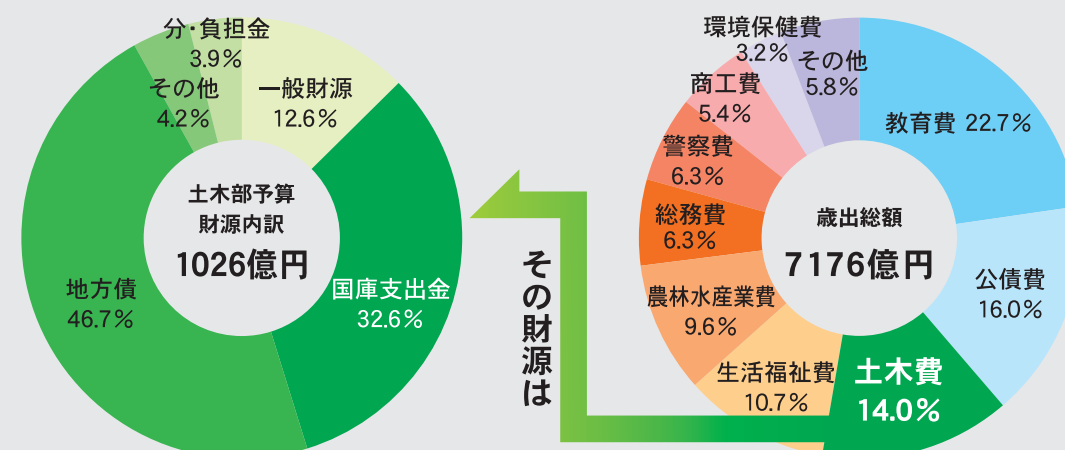


長期総合計画（後期五か年計画） ながさき夢・元気づくりプラン



土木の予算は県全体の14%。県民の皆さんの生活を支えるために大切に使わなきゃいけないね。

平成19年度 長崎県一般会計予算（当初予算）



平成19年度の新たな取り組み

平成19年度からの新たな取り組みとして、「みんなのふるさとふれあい事業」では、川や海岸で自然にふれあい、遊び学べるよう散策路や魚道（魚のための道）をつくりまします。計画から地域や愛護団体の方にも参加いただき、皆さんと一緒に進めてまいります。

また、「土木施設維持補修計画策定事業」では、建設後年月が経つと、道路や橋が老朽化していきますので、点検等に基づき、計画的な補修や改修を行うための計画を策定してまいります。

これからは点検や補修・改修にもさらに力を入れて、大切な施設をできるだけ長く使えるようにするんだよ。



平成19年度の主な事業

※[]は平成19年度予算



一般県道 鷹島肥前線 [15億円]



一般国道206号 小迎バイパス [32億円]



厳原港(完成予想図) [8.6億円]



都市計画道路 浦上川線(完成予想図) [38億円]



伊木力ダム [9.2億円]



みんなのふるさとふれあい事業 [5億円]

